

経済建設常任委員会要点記録

日 時	令和7年10月3日	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	14時43分	3:22
場 所	委員会室			
出席者	野沢委員長、三上副委員長、川原委員、小橋委員、石井委員、濵谷委員、小林委員 傍聴議員：柏野議員、早坂議員、矢野議員、新岡議員、吉永議員、松島議員			
説明者	副市長、経済部長、建設部長、水道部長 外22名		傍聴者数	0人
事務局	議会事務局長、同次長、議事担当主査		記 者	1人

会議の経過事項

	委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。
	<p>●日程1. 現地調査について</p> <p>1) 市道の認定について（盤尻2号線） 2) 石狩東部広域水道企業団（施設概要、浄水施設）について</p> <p>日程1. 現地調査について 終了</p> <p style="text-align: center;"><u>11時45分 休憩</u> 13時00分 再開</p> <p>●日程2. 付託案件審査について</p> <p>1) 議案第12号 市道の認定について（盤尻2号線）</p> <p>【質疑】 なし</p> <p>【各委員意向確認】</p>
三 上 委 員	こちらに関しましては、採決にして、可決でお願いいたします。
川 原 委 員	現場を見させていただきまして、必要だと判断いたしましたので、採決し、可決でお願いいたします。
小 橋 委 員	同じく、採決し、可決でお願いします。
石 井 委 員	同じく、採決し、可決でお願いします。
濱 谷 委 員	採決、可決でお願いします。
小 林 委 員	必要なものだと思うので、採決して、可決でお願いします。

野沢委員長	(採決し、可決すべきもの)
	日程2. 付託案件審査について 終了
	●日程3. 所管事務調査について
	1) 報告事項
西中経済部次長	資料説明 事故等発生(処理)報告について 【質疑】 なし
	日程3. 所管事務調査について 終了
	●日程4. 経済部関連
	1) 報告事項
上山商工労働課長	資料説明①新市街地(戸磯地区)について
〃	資料説明②恵庭市中小企業等振興融資制度について
〃	資料説明③漁川ダムにおける長期熟成加工品等の保管実証実験について
〃	資料説明④恵庭市外国人材採用支援セミナーの実施について
大林花と緑・観光課長	資料説明⑤第3期恵庭市観光振興計画の策定について
〃	資料説明⑥花の拠点(はなふる)指定管理者の公募について
〃	資料説明⑦地域おこし協力隊員の任用について
〃	資料説明⑧全国花のまちづくり恵庭大会実施計画の策定について
〃	資料説明⑨ルルマップ自然公園ふれらんど整備・運営事業 基本協定の締結について
伊藤振興主幹	資料説明⑩新市街地開発に伴う道路網検討に係るアンケート調査について
	【質疑】
小林委員	① 資料④の外国人セミナーはどういった研修内容になっているのか伺います。 ② 資料⑩の新市街地開発に伴う道路網のことですが、対象2,000人ということを、今、報告があったと思うんですが、対象に2,000人としている根拠について伺います。
上山商工労働課長	① 資料④、セミナーの内容の詳細ですけれども、現在、講師と調整中であり、未定の部分もございますが、具体的には、外国人材に関する国内及び道内の状況や在留資格等の説明、採用に関する留意点、概算となります。費用等を説明していただく予定であるほか、ハローワークからは、ハローワークで必要な手続等をお伝えいただく予定となっています。 ② 資料⑩、総合計画のアンケートをはじめとして、市が実施しているアンケート調査の多くが、対象を2,000名としており、今回の調査も、基本的にはこれに倣って2,000名としていますが、例えば、恵庭市の人口とほぼ同じ7万人の母集団の傾向を把握するために、こういった標本調査を実施する場合に、いわゆる統計的に意味のある調査結果、例えば、許容誤差5%、信頼度
伊藤振興主幹	

	<p>95%の結果を得るために必要なサンプル数が、大体380名程度、約400名弱と言われています。ですから、今回、2,000名に調査票を配布するという形ですので、回答率が20%で、その400件のサンプルを得られるということで考えております。</p> <p>小林委員 ③ 外国人の採用については分かりましたが、参加人数を20人とした根拠について伺います。</p> <p>④ 新市街地開発ですが、アンケート対象を2,000人としている根拠については理解するところもあるんですが、私としては、今の時代ですと、アンケートを配布してもネットである程度簡単に答えられたりする時代なのかなというところもありますし、市民との信頼関係をさらに高めていくためにも、やっぱり幅広い意見を集めているんだということで、もうちょっと増やしたほうがいいかなという気はしているんですけれども、御所見を伺います。</p> <p>上山商工労働課長 ③ 市内企業を対象に、今年度実施中であります令和7年度労働状況調査におきまして、結果の集計途中であるため、速報値とはなるんですけれども、外国人の雇用を検討している企業16社と速報値が出ておりまして、その中から各社1名程度御参加いただけたと推測して、定員を定めたものです。しかしながら、市民会館の大会議室で開催しますので、会場に余裕は生じるかと思いますので、申込み状況により、定員を超えた受付も検討したいと考えているところでです。なお、今、申し上げた労働状況調査の結果につきましては、まとまり次第本委員会で御報告を申し上げたいと考えているところです。</p> <p>伊藤振興主幹 ④ 今回の調査は、幅広い意見というのもごもっともだと思いますが、それ以上に、交通実態の傾向の把握に重きを置いた調査と考えています。こういった標本調査の場合は、一般的に無作為抽出が原則とされていますが、例えば、ウェブでアンケートを取るために、新たに市のホームページですとか、公式LINEなどを通じて協力を求めるという形になりますと、標本で得られるサンプルには、ホームページを見ている人の中ありますとか、公式アプリのアクティブユーザーの中にといったフィルターがかかってしまうということが懸念されることから、今回のアンケートにつきましては、この資料のとおり、住基から無作為抽出した18歳以上2,000名を対象としたいと考えております。</p> <p>石井委員 ① 全国花のまちづくり恵庭大会実施計画が出されました。すごく大きなイベントで、緑化フェア以来の楽しみなイベントになると思います。市民にとってもうれしい、楽しい魅力づくりをしていただきたいところですが、それによる経済効果など、市にとっていいことを見込んでいることはあるか伺います。</p> <p>② また、この27日のプログラムが、花の拠点から離れている市民会館でのイベントが長い時間となっておりますが、この日、花とくらし展と同時開催ということなんですが、花の拠点から離れている行事をいっぱいにすることの意味というか、意図は何なのか伺います。</p> <p>大林花と緑・観光課長 ① この大会による経済効果ですが、令和4年度に実施したガーデンフェスタは、全国的な都市緑化の推進イベントであり、花の拠点はなるが幅広く認知される契機となった大会でした。一方で、本大会は、花のまちづくりをテーマ</p>
--	---

石 井 委 員	<p>に、全国の先進事例を共有し、市民と来訪者が共に学ぶ場ということで大会の意義を設定しております。よって、経済効果の算定というのは、申し訳ございませんが、行っておりません。</p> <p>② 大会の会場が市民会館大ホールでして、はなふるでは同時開催で花とくらし展が実施されているということですが、当日は、1日目は市民会館大ホールでの座学が中心になっています。なので、どうしてもホールという環境が必要になりますので、市民会館でと思っていますが、はなふると市民会館の間を循環バスでつなぐような形で、人が行き来できるよう検討しているところです。</p> <p>期待していた答えが返ってきたのでよかったです。せっかくはなふるのほうもいい時間に、いい季節に御覧いただきたいと思っていたので、循環バスが出るということで安心しました。また、座学中心の学びの時間ということで、そういうことも必要だということが分かりました。成功することを祈っています。</p>
三 上 委 員	<p>① 資料①、新市街地戸磯地区で、こちら、今現在の状況は分かりました。今後について、サッポロビール庭園駅からその区間、土地の所有者の把握、そして意向聞き取りを継続しますということでしたが、今継続してやっている中で、進捗状況としては、当初の予定よりも遅くなっているのか、予定どおりなのか、ちょっと早まっているのか、今分かることがあれば伺います。</p> <p>② 資料③、漁川ダムにおける長期熟成の加工品の実験ということで、非常にいい取組だなと思って、特產品を今後、恵庭市から輩出できるようにという取組ですが、こちらの実施状況も分かりました。その中で、1ページ目の目的の後半ですけれども、今の室温データなどが、まだ1年たっていないですけれども、この1年の中で何かこういったことがデータとして出ていますという実証があれば、今現時点、1年目においてどういう状況なのか伺います。</p> <p>③ 同じく、この資料の2点目になります。2ページの6項目です。いろんな品種の状況が分かったんですけども、野菜については、今回厳しかったと、断念という形でいましたが、この中の品種で、どういったものが特に駄目だったのか、全部駄目だった理由とか、今の課題ももし分かれば伺います。</p>
上山商工労働課長	<p>① 新市街地戸磯地区について、進捗具合ですけれども、予定どおり進捗しているという認識です。</p> <p>② 漁川ダムの実証実験について、1点目の温度・室温データについてですけれども、温度が年間を通して8度、湿度は、こちらも年間を通して90%から100%というデータとなっております。こちらにつきましては、ずっとこの間変わっていないということで御理解いただきたいというところです。</p> <p>③ 野菜が駄目だったということですけれど、入れていただいたものは、具体的にはジャガイモと玉ねぎになります。今申し上げた環境上、湿度が高かったせいか、芽が出てきてしまい、食べられるような状況にはならなかったので、全て引き上げたという現状になり、野菜については難しかったというのが事業者からいただいたコメントで、私たちもそのように認識しているところです。</p>
三 上 委 員	<p>④ 新市街地ですが、今は概ね予定どおりの進捗ということでした。こちら割と土地所有者の複雑だったりとか、いろんな状況があるのではないかという形</p>

	<p>で、市民の皆様の声も聞いているところですが、令和6年の追加ニーズ調査でも、新たな立地需要の把握もできたという形で報告がありますので、この部分もニーズがある以上、やはり早く進めていくことが必要と考えています。その中で、今、予定どおりであるのであれば問題ないと思うんですが、今まで調査をやってきた中で、ここは課題だなと思うところがもしあれば伺います。</p> <p>⑤ この保管品、今回野菜はそういった形で駄目でしたという形でしたが、今何社かあると思うんですけれども、その中で、新たな追加保管、例えば、リキューとかだと、また新たに途中で入れたりという形になっているかと思いますが、あと残り約4年ほどある中で、そういった追加で入れたいとか、また、新たな取組をこの場所で、今まで入れてきたものの中での実証実験なのか、また状況によって、これを随時、例えば野菜であつたら違う野菜を入れるですか、そういうことが今後取組として考えられているのか伺います。</p> <p>④ 新市街地についてです。課題という部分ですけれども、土地所有者の把握であったり、意向の聞き取りを進めているところですので、地権者の御意向を丁寧に聞いていきたいという部分ですので、主立ったというような点については、現時点ではないと認識しています。</p> <p>⑤ 今後の追加のものというところですけれども、市が事務局を持っております農商工等連携推進ネットワークの会員に周知を行わせていただいて入れたものになりますので、今後、またこういう実験の内容については、御報告であるとか、周知をさせていただいた中で、こちらは事業者の御協力あってのものなので、私どものほうからこれを入れてくださいというのは難しい部分になりますので、そこについては、周知をしながら、希望する事業者の声を聞いていきたいと考えています。</p> <p>資料①に関しましても分かりました。こちらは、またさらなる可能性が非常に高い部分でもありますので、順調に行っているということですが、ぜひさらに進めていただければと思っております。</p> <p>長期熟成のほうも、こういった取組、そしてそれに対する期待も、一部特産品を扱っている会社であつたりというところは、非常にいい取組だという声も聞いておりますので、企業者ありきだとは思うんですけれども、この期間を有効に使うために、回転は速く、新たに何かもしできることがあれば、そこにぜひ対応していただけたらと思います。</p> <p>答弁は要りませんので、これで終わります。</p> <p>川原委員 ① 資料④の外国人セミナーについて、一応、目的、考えられてることはもう書いてありますが、書いてあること以外に、本当に将来について考えられていることが何かあつたら伺います。</p> <p>② 資料⑤の第3期観光振興計画の策定です。今回、当日配付のあった資料⑨のルルマップ自然公園の関係、内容を見ますと、観光振興計画の目的の3番のところがスポーツということで位置づけされております。これは9番のルルマップのことと全く整合が合っているなという形であります。今回、第6期の総合計画の構想も大体策定されているところだと思います。その内容を見ますと、</p>
--	---

	<p>やはりスポーツと観光、これをしっかりと捉えてる状況だらうと、私は同調していたふうに感じているんですが、この三つの連携がしっかりと意図されたもので計画されているのか、考え方を伺います。</p> <p>③ 資料⑦の地域おこし協力隊ですが、ようやく取りかかっていただけたかなと思っています。実際、今回、特に和木町の地域協力隊の若手がうちの緑化フェアにしろ、顔を出してきて、地元を持って帰って、いろんなイベントを組んでいるというのを耳にしております。非常に生き生きとして、自由闊達に動いている方たち、こういう人材は必要だなと、そんなふうに肌で感じたところですが、今回募集する人材の把握の仕方、どんなことを期待されているのか、一職員として考えているのか、自由に動いていただいて、今回は花に特化されているようですが、それをどんなふうに考えてやっているのか、考え方を伺います。</p> <p>④ 資料⑧の全国花のまちづくりです。8-2もずっと読ませていただきましたが、先ほど同僚委員からも質問がありましたが、話を聞いてると、私もちよつと違うなと思ったのは、全国花のまちづくりという表現でした。てっきり私は、39回緑化フェアの継続で、後援だとか、協賛だとかに、全国のどこかの省庁が入って、これを大々的にやっていくのかなと思っていたんですが、どこを見ても、項目に後援も協賛も名前がないわけですが、今回、独自で全国という表現を使ってやられるようですが、その規模について、全国という表現、それについてどうなのか、考え方を伺います。</p> <p>① 外国人人材セミナーの今後について、先ほどと重複する部分もあるかもしれませんけれども、今後、外国人の採用を考えている企業が、私どもの調査でも増えてきている、実際にもう雇用しているという企業もいらっしゃいますので、外国人を採用したいけれども、ちょっとよく分からんんだよねとか、ちょっと心配な点があるんだよね、不安な点があるんだよねというのを、少しでもなるべく広く拾って、そういう御相談に乗れると言いますか、そういうような場を、こういったセミナー形式がいいかどうかは、今後検証する必要があると思っておりますけれども、こういったことを含めて、市内の企業のニーズに応えていきたいと考えています。</p> <p>② 観光振興計画の策定について、今委員おっしゃっていただいたとおりでして、総合計画の動きがあり、観光振興計画策定の動きがあり、また、ふれらんどに関しては、基本構想であり、整備計画という個別計画を持っております。これらを庁内で情報共有をしながら、一体的に進めているというものです。</p> <p>③ 今回の地域おこし協力隊の公募、任用について、今回の隊員につきましては、恵庭市が今進めております花と緑の文化センター構想、これに基づく取組を強力に推し進めていただく一員として活動していただくために、募集をして、任用が決定したものです。期間は最大3年間、11月1日採用ということで今考えておりますが、3年間は地域おこし協力隊員という立場で、この花と緑の文化センターの取組に一緒に取り組んでいただいて、その後は、この恵庭という地域に残って、その取組を引き続き行うのか、また、本人の意向では起業なんかも少し考えていきたいというお話を聞いていますので、そういったことを3年間かけて一緒に考えていきたいと思っております。</p>
--	--

川 原 委 員	<p>④ 全国花のまちづくり恵庭大会です。これは、日本花の会というところが、主催者としてではないんですが、全国、毎年どこかで、この全国花のまちづくり大会を実施されております。本年度については、静岡県の牧之原市で開催されておりまして、来年度は恵庭でということで考えているところです。</p> <p>⑤ 外国人セミナーについて、考え方がよく分かりました。私もそのとおりやつていただきたいと思っています。私は、先日、内地の企業主といろいろ懇談する機会がありました。外国人、ベトナム人、ミャンマー人、本当に普通の職員として雇っていて、私自身、少し閉塞感を自分で持っているなど肌で感じてきたところです。今の人材不足というのは、これから外国人とともにしっかり日本で、恵庭で働いていただく、そのバリアを持っているのは我々であり、会社の経営者、地元の恵庭の経営者たちも、やっぱりそういう部分があるのかな、あるのかもしれませんねと思ったりしています。やはり内地のほうはそういうことを先駆的に取り組んで、外国人を普通の労働者として、職員として、日本人と何ら差別もなく、違和感もなく仕事をしている話を聞いてまいりました。恵庭にもそういうのがあったらいいなと思いながら、今日、委員会に立っているところですが、ぜひそれを目的として、市内の企業、人手不足だとか、人材不足に苦労されてる採用の場面についての一助になるのではと思います。しっかりこのことは取り組んでいっていただきたいと思っております。そこで、その企業に対して、この件は、どんな形でアプローチされるのか伺います。</p> <p>⑥ 地域おこし協力隊です。これを見ますと、今言われたとおりだと思います。恵庭ガーデンシティに、よその地方自治体から視察に来られて、そこではなふるを案内していただいたときに、ガーデンシティ恵庭の職員が、女性の方ですが、花をしっかり説明して歩いて、こういう方がいると本当に話も聞きやすいし、よかったですと思っております。それが今回、地域おこし協力隊の方たちがペアを組んでやられるのかなと思っております。ただ、この説明の中にはあります、3年間いて、またN P Oか何か組んでやろうというふうに、そうやると関係人口がどんどん増えてくるという形になるような気がしております。それで一番心配しているのは、どういうふうに管理していくのか、自由にするのは勝手なんですが、本当に恵庭市の思うとおりやつていただけるのか、そこら辺、どうコミュニケーションを取っていかれるのか、その手法について、職員の主査になるのか、係になるのかよく分かりませんが、そんな形で動かされるのか、全く自由に、テーマを与えて、そこをチェックしていくという流れになるのか、そこら辺の管理、管理という表現はちょっと悪いですが、うまくこちらの思うような流れになっているのか、どんなふうに考えて整理していこうとされているのか伺います。</p> <p>⑦ 全国花のまちづくり、これはそうしましたら、これこそ全国で銘打ついいですよね。もうどんどん花を売っていっているわけですから、ぜひそれをやつていただきたいんですが、全国に対するアプローチの仕方、それについてもどんなふうに考えてらっしゃるのか伺います。</p> <p>⑧ 観光のほうもありましたね。ルルマップ自然公園と観光振興計画を進めていかれるというのが、資料⑨のルルマップについては、今度、整備方針について</p>
---------	--

上山商工労働課長 大林花と緑・観光課長 川 原 委 員 大林花と緑・観光課長	<p>も長期にやっていくべきだと位置づけられてますが、これは変わってないんですね。投資していただきて、長期のスパンでやっていただくと、これから実施計画だとか、いろんなものが出てくると思いますが、基本計画の中には、長期にわたってしっかり取り組んでくださいという流れの中から、市外からもお客様が来ていただけるような形で取り組んでいこうとされるのか伺います。</p> <p>⑤ 外国人材セミナーについて、今年度実施しております労働状況調査の結果であったり、セミナーをやった際のアンケートも参考にしながら、ちょっといろいろ問題はありますけれども、今後どういうような手法が適切かということについては、検討してまいりたいと考えています。</p> <p>⑥ 観光振興計画です。こちらは、基本構想、整備方針に基づいて、長期的に民間事業者に運営を担っていただくという方針に変わりはございませんので、そのように御理解いただければと思います。</p> <p>⑦ 地域おこし協力隊員については、会計年度任用職員として我々が任用する形になりますので、花と緑・観光課に籍を置いて、そこで私どもと一緒に活動していくことになります。もちろん、いろいろ本人のやりたいことも出てくると思いますので、そういうところについては、例えば、こういう研修に行ってみたいですか、こういう会に参加したいという御要望を聞きながら、業務の範囲の中で活動していただくことが基本になろうかなと思っております。</p> <p>⑧ 全国花のまちづくり恵庭大会のPRです。その前に、先ほど規模というところをお答えするのを忘れていましたので、規模については、実施計画でも規定しておりますが、大会については600名程度を市民会館の大ホールに御案内をして大会を実施しようということで考えております。</p> <p>PRについては、既に動き始めておりまして、例えば、札幌広域圏組合に参加されている自治体ですか、また、花の活動でお付き合いのある道外自治体も含めて、既に日程等についてはフライヤー等で御案内をさせていただいております。今後詳細が決まりましたら、続報という形で案内をさせていただいて、全国からこの大会に御参加いただけるようにしていきたいと思っております。</p> <p>⑨ 全部、大体分かりました。それでは、あと、全国花のまちづくりの中身を読ませていただきましたが、交流会の場面で、ぜひこのプログラムの概要のところに、この交流会というのは非常に楽しい部分で、前回、私も参加した経緯もありますが、このプログラムのライトアップをしっかり見ていただいて、参加した方といろんなお話しして、花について交流することが、この目的に大きくプラスになるんじゃないかなと思いますが、ライトアップの時間までの何かいいタイミングでいくような方法はないのか、考えを伺います。</p> <p>⑩ 交流会については、実は主催者というか、花の会にも確認しましたが、屋外で実施するのは初めてではないかと言われており、天候にもよりますが、できれば恵庭らしさを感じていただくためにも、はなふるの屋外でガーデンパーティーという形で行いたいと思っております。あとライトアップについては、今後、会場のレイアウト等の詳細も検討していきますので、その中で検討させていただければと思います。</p>
---	---

小 橋 委 員	<p>① 資料①の新市街地なんですが、資料の中にある、3の今後についての中の2番目の、サッポロビール庭園駅周辺の土地利用の検討を継続しますとあります。この駅の東西をどのような絵を現段階で考えているのか。特に、恵庭市内、四つのJRの駅があって、駅前というのは大変重要な顔であると考えております。現時点では、これが最後の4番目の駅前ということになりますので、現時点で答えられる範囲で結構です。どのような駅前を、東西の駅前を市として考えているのかがありましたら、お考えを伺います。</p> <p>② 資料④の外国人人材、先ほど同僚委員からるるございました。この採用に関しては、技能実習生を対象にする内容なのか、平成27年から始まる育成労働を対象にするのか。それから、特定技能の国内なのか、国外なのか。今、四つの選択があると思います。これは、特に初めての事業主にしてみれば、選択というのは大変難しいところかなと考えております。現に採用する企業のお話もあると思います。職種によっても大きく変わるかなと思っております。この辺も、内容的にはどの辺を中心としたセミナーを行うかというのが、現段階で考えていることがありましたら、考えを伺います。</p>
上山商工労働課長	<p>① 戸磯地区、現在の土地利用について、まず、あくまでサッポロビール庭園駅からおよそ南26号までの区域を当面の開発想定エリアとしたという段階ですので、現時点でお答えできるものはありませんけれども、今、おっしゃっていただいたような東西というようなこともありましたので、今おっしゃっていただいた中身も含めて、今後検討してまいりたいと、そういう段階だと御理解いただきたいというところです。</p> <p>② 外国人人材採用セミナーについて、本当にゼロからというようなところを考えておりますので、今おっしゃっていただいたような、例えば育成労働であるとか、そういったことについても、今後していただける方と調整中ですので、その辺の制度のゼロベースの説明も入れていただくような形で、現在打ち合わせしておりますので、こちらについても、まだ日にちがあるものですから、もう少し打合せをしてまいりたいと考えておるところでございます。</p>
	<p>1) 報告事項 終了</p> <p>2) その他所管事務調査について なし</p>
山 下 管 理 課 長	<p>日程4. 報告事項 (経済部) 終了</p> <p><u>13時58分 休憩</u></p> <p>14時04分 再開</p> <p>●日程5. 建設部関連 (建設部)</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明⑪ワンコイン浸水センサ実証実験について</p>

	<p>【質疑】</p> <p>小 橋 委 員 ① この実証実験、内容がどうのこうのじやなくて、設置場所が足元ということと、子どもたちも、見つけた子は恐らく興味津々であるということで、破損とか、そういう心配も懸念されるわけなんですが、これに関する市民への周知等、今後、そういう注意というのか、呼びかけはどのようなことを考えているか伺います。</p> <p>山 下 管 理 課 長 ① センサー、今、もう 10 か所設置はしているんですが、こちらは特段、今、実証実験の段階で、市民への公表とかは現在しておりません。今後、浸水センサーの設置について、今年度まで周知を図っていきたいと考えています。</p> <p>小 橋 委 員 ② そういう形なんですが、特に子ども、小学生あたりは、何だこれと、と思います。これは教育委員会と少し協議して、小・中学校等に、この機材に触ると言ったら触りたくなりますので、うまく伝達して、破損等が今後起きないような処置を取っていただければ効果的なんじゃないかなと思いますので、そちらのほうの検討をお願いします。考えを伺います。</p> <p>山 下 管 理 課 長 ② 今後、教育委員会とも連携しながら取り進めていきたいと思います。また、こちらの浸水センサーですけれども、除雪などによる破損が懸念されることから、冬期間においては一旦取り外して、雪が解けた後、再設置するような形で取り進めていくところであります。</p> <p>1) 報告事項 終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】</p> <p>小 橋 委 員 ① 3月 14 日の常任委員会で報告があったと思うんですが、恵み野中央公園改修基本計画、工事ですので、こちらの今年度に入ってからの現在の進捗状況、今の段階で報告できる分を伺います。</p> <p>林 管 理 課 主 幹 ① 恵み野中央公園の今年度の実施状況について、令和 7 年度ワークショップにつきましては、恵み野中央公園を育む会という名称で、年間 3 回のワークショップを計画しております。第 1 回が 7 月、第 2 回が 8 月に実施、第 3 回目は 10 月末に実施する予定です。実施設計は、1 月の末を工期末に、ワークショップと並行して進めているところです。</p> <p>小 橋 委 員 ② ワークショップのほうを今進めているということか、では測量はまだしていないということでいいのかの 2 点伺います。</p> <p>林 管 理 課 主 幹 ② 測量業務につきましては、実施設計と併せて発注しております。既に測量業務は完了しているところでございます。</p> <p>日程 5. 建設部関連 終了</p> <p>●日程 6. 水道部関連</p> <p>1) 報告事項</p>
--	--

佐藤経営管理課長 〃 廣瀬上水道課長	資料説明⑫水道事業ビジョン・経営戦略の進捗状況について 資料説明⑬下水道ビジョン・経営戦略の進捗状況について 資料説明⑭恵庭市企業職員運転免許取得助成金交付要綱について
小 橋 委 員	【質疑】 ① 資料⑭の運転免許の件ですが、要綱の第10条第1項、特に読みませんが、この1項の考えは、どのように考えたのかを伺います。
廣瀬上水道課長	① 申請して免許取得をした方に助成をすることですが、やはり退職等をする方が最近増えているということをございまして、5年未満に退職した方につきましては、助成金の一部または全部の返還を求めることができるという規定を設けまして、不正とは言わないんですが、安易に助成金を出さない、返していただくというような規定にしたということでございます。
小 橋 委 員	② 要綱なので、あくまでも内部で決めたことなんですが、恐らく、普通免許から準中型、30万円前後はかかるんじゃないかなという気がしております。この5年以内、職員の年代によりますが、この辺をもう少し検討できるのであれば、例えば、25歳の方が取って、5年たつたら30歳で、このスキルを持って転職できますよね。条件がいいところがあればとなると、これは市にとっては大変大きな損失であり、また、市民の皆さんの税金を使ってのスキルの取得なので、この辺もう少し内部でよく検討して、ある程度、厳しいという言い方はあれなんですが、そういうのも必要じゃないかなと感じております。災害時には、免許がなければ乗れないわけですから、そういう面でも、要綱にもう少し厳しさがあってもいいと思いますので、ぜひ内部でもう一度検討していただきたいなと思っております。この件についてお考えがあれば伺います。
廣瀬上水道課長	② 運転免許の取得、災害ではなく、運転免許の取得を目的としまして、助成を受けた職員につきましては、厳重に助成金の全部または一部を返していただく、少なくとも5年間はということでつくらせていただいたものです。また、他市の事例を見て参考にしながら策定したものでございますが、やはり5年間という設定が多かったものでございます。また、退職する職員につきましては、様々な都合ですか、理由があると思いますが、やむを得ず退職する場合もあるということから、時間を長く取って助成金の返還を求めるのは難しいものと考えましたので、このような要綱にさせていただいた次第でございます。御理解いただければと思います。
川 原 委 員	① 資料⑬、下水道ビジョンの経営戦略の進捗状況の報告について、財政状況、収支の比較、(2)の部分の一番下段に、健全度や緊急性を勘案の上、優先度が低い一部の事業をやむを得ず先送りしていますという文言がありますが、どのようなものを先送りされているのか伺います。
金 下 水 道 課 長	① 一例になりますけれども、下水道ストックマネジメント計画というものを策定して、管の老朽化対策を行っておりますが、こうした事業は、交付金の交付額に応じて、事業費を減額させていただいております。
川 原 委 員	② まだあるんでしょう、先送りしてあるものは。今の言われたものだけですか。

金下水道課長	② 大きいものは、ストックマネジメント計画となります。そのほか、例えば、雨水管の新設ですか、そういうしたものも、場所によっては、後年に先送りをして、当初予定した工事数を減じて事業を実施するというのもございます。
川原委員	③ 私がこれをお話しているのは、しっかり経営されているのが、今回、令和6年度の状況、ここに報告がございました。収支不足額が7,000万円減少したと、軽減されたということで、これは本当に努力の結果だと思います。あと、企業債残高も4億9,000万円、予算よりも少なくなった。これは本当にプラス材料だと思います。その中で、なぜ収支を先送りしなくちゃならないのか。一般企業であれば、企業で蓄積をしなきゃいけないと、企業は企業会計ですから、蓄積はしなくちゃいけないと思いますけれども、基本は、やはりある一定の中の、今回、証券も購入されていることもありますし、やはり循環に回っていく状況であれば、先送りでなく、手を打っていくかなくちゃいけないんじゃないかなと思います。ただ、先ほど、金課長が言われましたが、要するに交付金の状況を見ながらやっていくんだと、それはそれで待っていたい結構なんですが、そうじゃなく、次から次から先送りできるものはやっていくべきだと私は思っているんです。それで一番心配なのは、やっぱり恵庭市は、下水道の老朽化は非常に良好だと新聞に載っておりましたので、そこら部分の投資をなぜ先送りにするのか、理由を伺います。
佐藤経営管理課長	③ 投資を先送りにする理由になっております。予算を策定する際は、支出と併せて収入も計上します。その収入の中に国庫補助金の対象となる事業については、国費を充当するということで予算を組みます。結果的にそれが下水道事業の場合は、一般会計繰入金にも影響するものであります、いわゆる市税にも影響が出る、市税というんですかね、一般財源にも影響が出てくるものになっておりますので、収入の財源の確保をある程度見た上で、事業の実施というのを計画させざるを得ないような、といった状況になっております。
川原委員	④ 分かりました。今回の報告はそういう報告で。ですが、これが一般財源の市からの繰入金のことも考えながら、そして社会資本交付金の流れを見ながら事業をやっていくという流れですよね。これを踏まえて、来年度に対しては、やっぱり前向きな施策を打っていくという考え方で捉えてよいか伺います。
佐藤経営管理課長	④ 先ほど金課長からもお話がありましたが、国費の配分状況によって、やむを得ず先送りになった部分については、次年度以降の予算において、その先送り分も実施できるような予算組みというものを検討しているところであります。
川原委員	⑤ もうちょっと、何かをはつきり言ってほしいな。
金下水道課長	⑤ 事業をするには財源が必要です。国庫の交付金が来ないことにより、老朽化のほうは一旦先送りという判断をしていますが、一方では、分流化事業については、国費が来なくても起債を充ててでも、令和7年度に完成させましょうということで大きくやっております。そういったことで、どういった財源が何の事業に必要かを考えながら、取捨選択をして事業を選択しているわけとして、令和7年度において分流化が終了する見込みですから、令和8年度以降は、これまで先送りしてきた老朽化対策に注力ができる状況になりますので、予算の要求も含めて、今、水道部内で検討させていただいているところになります。

1) 報告事項 終了

2) その他所管事務調査について

【質疑】

なし

日程6. 水道部関連 終了

(理事者および執行部退席)

【委員間協議】

●日程7. 閉会中の所管事務調査について

- ・除雪について
- ・漁川ダムの現地調査
- ・ダムの調査

執行部と調整して、11月上旬を目途に実施

日程7. 閉会中の所管事務調査について 終了

●日程8. その他

行政視察について

- ・来年1月中旬以降で調整
 - ・視察希望先を10月中に出してほしい
- 正副、事務局で調整する

日程8. その他 終了

委員長が閉会を告げる。

(14:43分 終了)

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

経済建設常任委員会 委員長